

VI. 外国語教育研究センター

外国語教育研究センターが開設している485クラス中、実施されなかったのは4クラスのみであり、実施率が99.18%で昨年同様高い実施率である。

◎ アンケート項目別分析

以下、各項目について分析を行った結果を示す。

Q1 「私はこの授業によく出席している」：この項目については、科目ベース平均で、4.56と高い数値である。語学の授業では3分の1以上の欠席は認められないというルールがあるが、それも出席率が高い理由の1つであると思われる。

Q2 「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」：この項目はQ1に比べると数値的にはかなり落ちており科目ベースの平均点で3.80である。語学を必修科目として履修している者が多いためと思われるが、一方、60%以上の学生が意欲的に取り組んでいると答えていることは好ましい事態であると言えよう。今後はさらに多くの学生が積極的に授業やその前後の予習・復習に取り組めるよう教員側の様々な工夫が必要であろう。

Q3 「この授業のレベルについて」：「適切である」が全体の70%となっていることから、外国語教育研究センターで提供されている授業のレベルについては適切であると判断される。「やや高すぎる」が20%となっているが、高いレベルを要求する授業を一部に設置することは語学力を高めるためには必要である。ただし、その場合には履修者の能力に応じたクラス分けが行われることが望ましい。英語については、平成20（2008）年度より理学部を対象に緩やかな習熟度別クラス分けを試みており、教員側からは今のところ授業がやりやすいという感想が聞かれるが、1年間を終えた段階での教育効果が期待される場所である。もし、このような習熟度別クラス編成が効果的であるとの結果が出た場合には、同様のクラス分けを全学的に行う是非について検討する必要があるであろう。そうなれば語学の教育効果のより一層の向上が全学的に望めるものと期待される。

Q4 「この授業を進める速さについて」：「適切である」が全体の75%ほどになっていることから、授業の進度については適切であると判断される。「やや速すぎる」が15%ほどあるが、これについては履修している語学の種類によってもその判断が異なると思われるべきである。既習の英語の場合と比べて初習の外国語の場合には、授業時間の不足もあり十分な時間をかけられないまま次の学習事項に進む場合もある。今後はこの観点

からもデータを再分析する必要があるかもしれない。

Q5 「授業に対する教員の熱意が感じられる」：77%ほどの学生が「そう思う」と回答していることから、語学の授業では教員は熱意を持って授業を行っているにとらえられる。ただし、「どちらとも言えない」や「そう思わない」との回答が全体の20%を超えていることから、今後この点について教員の授業力を高める方策を検討する必要があるだろう。

Q6 「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている」：科目ベースの平均点は4.09であり、だいたいにおいて肯定的な評価となっている。ただし、「どちらとも言えない」「そう思わない」が全体の22%もあるため、現状がどのような状態であるのか探る必要があるだろう。

Q7 「教員は理解しやすい授業を行っている」：科目ベースの平均点は4.04で肯定的な評価と言えるが、「どちらとも言えない」や「そう思わない」との回答が27%にもものぼっており、4人に1人は理解しやすい授業を行っているとは考えていないことから、今後はさらに詳しくその実態を調査する必要があるだろう。

Q8 「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」：上記のQ7とほぼ同様の結果となっている。各教員はより多くの学生が理解できるよう、話し方について工夫が求められている。

Q9 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」：科目ベースの平均点は3.78ではあるが、この項目は語学という科目の特性上どうしても他の専門科目と異なり、知的好奇心を刺激するところまではなかなか行かないようである。

Q10 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」：70%以上の学生がこのように評価しているが、一方「どちらとも言えない」他が26%ほどである。これは受講者の語学力に差があり、それにあつた授業が選択されていないことも理由のひとつかもしれない。

Q11 「板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である」：科目ベースの平均点が3.86とあまり高くないことから、教員は学習者に対してわかりやすく板書したり資料を提示したりする方法にもっと気を配り、より一層の工夫が必要である。

Q12「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」：科目ベースの平均点が3.97であることから、教材に関してもQ11と同様の事が言えるだろう。

Q13「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた」：、この表では科目ベースの平均点が4.05である。ベーシック、コミュニケーション、リーディングなど様々な種類の授業の平均点となっているためそれほど高くないように見えるが、発言や議論を中心に行うコミュニケーションの授業のみをとりだせば、より高い結果が出たと思われる。

Q14「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」：

Q15「1回1回の授業のねらいが明確である」：

Q16「教員は授業時間を有効に活用している」：

上記の3つの項目についてはどれも科目ベースの平均点が4ほどであり、「そう思う」が全体の60%を超えている一方、「どちらとも言えない」や「そう思わない」が30%を超えていることから、教員はこれらの観点についてさらに注意し、授業をより充実したものにすべく一層の努力をすべきである。



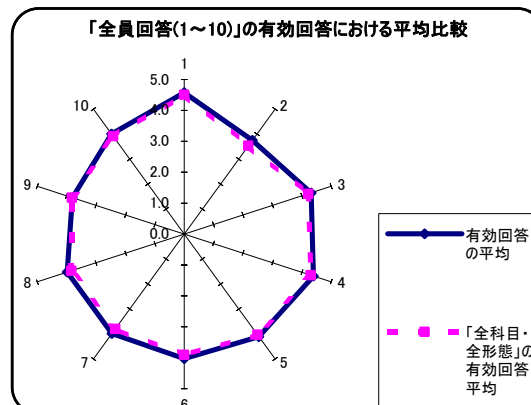
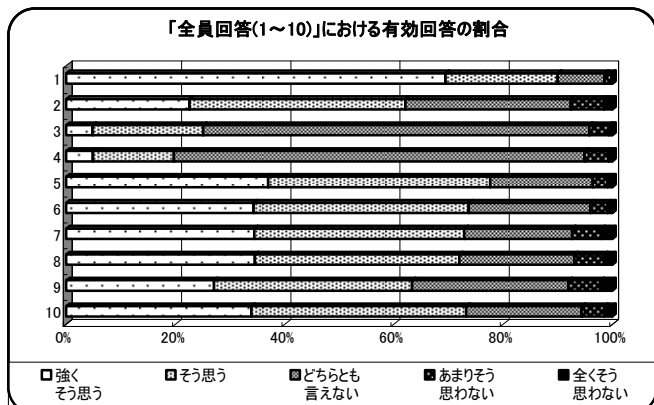
学習院大学 平成19(2007)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 外国語教育研究センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	9,139	12,233	74.71%

形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	6,297	1,864	773	120	10	75	9,139	4.58	0.712	4.56	0.248
			68.90%	20.40%	8.46%	1.31%	0.11%	0.82%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,043	3,566	2,735	551	135	109	9,139	3.76	0.921	3.80	0.373
			22.35%	39.02%	29.93%	6.03%	1.48%	1.19%	100.00%				
	3	この授業のレベルについて 5:高すぎる 4:やや高すぎる 3:適切である 2:やや低すぎる 1:低すぎる	441	1,835	6,403	329	53	78	9,139	4.30	1.159	4.31	0.474
			4.83%	20.08%	70.06%	3.60%	0.58%	0.85%	100.00%				
	4	この授業を進める速さについて 5:速すぎる 4:やや速すぎる 3:適切である 2:やや遅すぎる 1:遅すぎる	446	1,341	6,812	394	65	81	9,139	4.39	1.139	4.41	0.470
			4.88%	14.67%	74.54%	4.31%	0.71%	0.89%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,353	3,680	1,701	244	79	82	9,139	4.10	0.857	4.15	0.438
			36.69%	40.27%	18.61%	2.67%	0.86%	0.90%	100.00%				
6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3,108	3,566	2,013	287	81	84	9,139	4.03	0.879	4.09	0.385	
		34.01%	39.02%	22.03%	3.14%	0.89%	0.92%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	3,121	3,482	1,788	486	179	83	9,139	3.98	0.967	4.04	0.496	
		34.15%	38.10%	19.56%	5.32%	1.96%	0.91%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3,130	3,389	1,908	491	138	83	9,139	3.98	0.954	4.05	0.461	
		34.25%	37.08%	20.88%	5.37%	1.51%	0.91%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	2,452	3,284	2,588	534	198	83	9,139	3.80	0.975	3.87	0.467	
		26.83%	35.93%	28.32%	5.84%	2.17%	0.91%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,061	3,550	1,909	374	132	113	9,139	4.00	0.921	4.06	0.463	
		33.49%	38.84%	20.89%	4.09%	1.44%	1.24%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,285	3,261	2,637	514	111	331	9,139	3.81	0.932	3.86	0.447
			25.00%	35.68%	28.85%	5.62%	1.21%	3.62%	100.00%				
	12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,600	3,505	2,223	382	103	326	9,139	3.92	0.905	3.97	0.403
			28.45%	38.35%	24.32%	4.18%	1.13%	3.57%	100.00%				
「演習」 「語学」 のみ	13	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	2,980	3,114	2,077	383	111	474	9,139	3.98	0.936	4.05	0.477
			32.61%	34.07%	22.73%	4.19%	1.21%	5.19%	100.00%				
	14	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	2,827	3,239	2,127	339	122	485	9,139	3.96	0.924	4.03	0.471
			30.93%	35.44%	23.27%	3.71%	1.33%	5.31%	100.00%				
「語学」 のみ	15	1回1回の授業のねらいが明確である	2,508	3,047	2,202	472	127	783	9,139	3.88	0.955	3.93	0.463
			27.44%	33.34%	24.09%	5.16%	1.39%	8.57%	100.00%				
	16	教員は授業時間を有効に活用している	2,651	3,191	1,939	424	141	793	9,139	3.93	0.949	3.98	0.451
			29.01%	34.92%	21.22%	4.64%	1.54%	8.68%	100.00%				



相関係数表 部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16
Q1																
Q2	.300(**)															
Q3	-.005	.045(**)														
Q4	-.002	.065(**)	.565(**)													
Q5	.064(**)	.323(**)	.080(**)	.113(**)												
Q6	.048(**)	.318(**)	.100(**)	.128(**)	.671(**)											
Q7	.065(**)	.333(**)	.276(**)	.283(**)	.627(**)	.656(**)										
Q8	.054(**)	.298(**)	.244(**)	.260(**)	.566(**)	.592(**)	.778(**)									
Q9	.080(**)	.402(**)	.192(**)	.194(**)	.564(**)	.549(**)	.642(**)	.615(**)								
Q10	.080(**)	.386(**)	.264(**)	.273(**)	.666(**)	.638(**)	.770(**)	.715(**)	.749(**)							
Q11	.073(**)	.324(**)	.190(**)	.202(**)	.524(**)	.551(**)	.642(**)	.621(**)	.564(**)	.643(**)						
Q12	.081(**)	.318(**)	.225(**)	.211(**)	.508(**)	.524(**)	.617(**)	.588(**)	.573(**)	.646(**)	.728(**)					
Q13	.080(**)	.322(**)	.139(**)	.178(**)	.546(**)	.580(**)	.552(**)	.530(**)	.535(**)	.599(**)	.544(**)	.542(**)				
Q14	.064(**)	.315(**)	.184(**)	.202(**)	.571(**)	.575(**)	.632(**)	.596(**)	.582(**)	.653(**)	.606(**)	.592(**)	.735(**)			
Q15	.076(**)	.338(**)	.171(**)	.202(**)	.561(**)	.560(**)	.631(**)	.580(**)	.593(**)	.660(**)	.634(**)	.626(**)	.590(**)	.663(**)		
Q16	.067(**)	.332(**)	.160(**)	.218(**)	.569(**)	.586(**)	.634(**)	.593(**)	.570(**)	.680(**)	.613(**)	.610(**)	.581(**)	.628(**)	.744(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 14 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

- Q 15 1回1回の授業のねらいが明確である
- Q 16 教員は授業時間を有効に活用している